

明るく豊かな地域とは！

「環境は無言の教育者」

希望丘中学校
校長 小松 昌之



学校は子どもたちにより良い学習環境と生活環境を与えなければなりません。学習環境を整えるには教師の授業力は勿論、学習規律が成り立たなければ学習力は高まらぬ。学習力を身につけさせるために、本校の教師は日々責務と向き合っています。

生活環境の中には、美的要素が重視される。玄関に始まり校舎内外の美化環境に、学校主事をはじめとして精力的に取り組んでいる。当たり前と言えはそうであるが、本校の教職員の子どもたちに対する愛情の注ぎ方に注目していただきたい。また、地域力の高さにも、他に類を見ないこと感じた。公立中学校は地域立と言われるが、地域の皆様の厚いご支援を頂いていることに感謝している。そのご支援を子どもたちの教育に還元できるように努めていくのが私の使命である。

平成20年度が開始した。学校、家庭、地域との協働により、「出会いが宝物」を合言葉に皆で語り合い、小規模校としてのメリットを最大限に生かし、感性豊かな子どもたちを育てていきたい。

「希望のある学校」

希望丘小学校
校長 矢作 利三



希望丘小学校に着任して、2年目を迎えました。私は、ジョギングが趣味でしたが、腰を痛めたため、今は早歩きをしています。千歳船橋の駅から学校まで、出来る限りバスには乗らず、様々なルートで、周りの様子を眺めながら歩いて出勤しています。四季折々の草花を見ることが、とても楽しみです。

希望丘小学校は、この6月17日で、満35歳を迎えました。特別なことは行いませんが、開校35周年記念としての運動会と、学習発表会を盛り上げたいと考えています。

また、今年度は、1年生が2クラスになりました。学区域の、来年度の入学予定児童が、2クラス可能人数であるならば、前年度以上に学校をPRし、2クラス実現を目指します。「魅力ある学校作り」に全力で取り組みますので、ご協力をお願いいたします。もっともっと、「希望丘小学校は、本当に良い学校だ」と評判がたつように努力いたします。

ちとせ

学校も地域の一員

5人の校長先生からのメッセージ



この2年間で、地域の小学校・中学校には、全て新しい校長先生が着任されました。先生方のごあいさつをお届けいたします。

「あいさつ」 千歳台小学校

校長 つかだ としお



私は、毎朝、校門で子どもたちを迎えています。そのとき門の前を過ぎる町の人たちにも声をかけています。

道行く人に「おはようございます。」と声をかけると、三分の一はすぐ返してくれるが、三分の二の方は、戸惑います。

でも度々声かけをしていくと、そのうち挨拶を返してくれます。

挨拶が返ってきたら、その人と「顔見知り」になれます。「顔見知りのいる範囲が自分にとっての地域」だとすると、自分から挨拶をすることで、自分の地域(顔見知りのいる範囲)を広げることになります。だから、「自分から挨拶することはいいことである」ということになります。そこで一句、

あいさつは、家でも外でも
「自分から！」

あいさつは、子どもも大人も
「自分から！」

地域で育つ子どもたち

船橋小学校

校長 小島 誠



世田谷区では、全国に広がりつつある学校選択制をとっていません。それは、子どもたちは本来地域の中で育つべきだからです。

実際にこの船橋の地域でも、子ども登下校は子ども安全ボランティアの方が見守ってくださいますし、また、青少年船橋地区委員会の「子どもぶんか村」では、土曜日と日曜日に、様々な文化的な活動に子どもたちは目を輝かせています。

学校と地域の連携という言葉がありますが、学校も地域の一員です。万一の災害時には学校が避難所になります。毎年夏には町会が中心となり、地域防災訓練や避難所運営訓練が行われています。

そのような中、船橋小学校はこの4月より世田谷区から地域運営学校として指定されました。地域の方々や保護者の皆様が直接学校運営に参加し、その意見が反映されます。地域に愛され育てられる理想の公立学校をめざし、努力しているところです。

「地域から信頼される学校」を目指して

船橋中学校

校長 徳永 啓介



船橋中学校は、地域運営学校の指定を受けて2年目になります。区の施策である「地域とともに子どもを育てる教育」を実現させるためにも、地域との連携をより深めていくことが大切であると考えています。具体的には、学校教育に地域や保護者の方がより一層参画する仕組みづくりや、地域の教育力を高める仕組みづくりを整えていきたいと考えています。青少年船橋地区委員会は、「子どもぶんか村」等の活動が継続して行なわれ、地域に根付いているように感じています。

「子どもは地域の宝。みんなで力を合わせて子どもを成長させよう。」という昔からの地域社会の意志をこれまで以上に大切にしながら、学校と地域との連携を一層深め、子ども達が活躍できる機会を充実させられればと考えています。

地域の方々のご協力をいただきながら学校の教育活動の質を向上させることも、地域教育の核として、船橋中学校を「地域から信頼される学校」にしていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



発行・編集 ミニコミ編集委員会
責任者 齋藤和子
事務局 船橋まちづくり出張所
電話 3482-0341
2008. 7 No.82号



まちの目が
安全・安心を守っています
船橋地区町会・自治会連合会
船橋地区青年まちづくり推進協議会
青少年船橋地区委員会/船橋児童館/船橋防犯協会



松沢病院敷地内に建設中の「東京都医学系総合研究所」(仮称)

希望丘団地よりバスに乗って八幡山駅に向かうとき、松沢病院の深い緑の木立の中に建築中の建物が見えます。これが、旧松沢看護学校跡地に工事が進められている「東京都医学系総合研究所」(仮称)です。第一期工事の竣工は21年3月予定です。

また、これを機に、東京都は都内にある3つの研究所、東京都臨床医学総合研究所(本駒込)、東京都精神医学総合研究所(八幡山)、東京都神経科学総合研究所(府中)を統合し「東京都医学系総合研究所」(仮称)として運営します。第二期工事は23年3月に竣工し、すべての建物の運営が開始されます。

こうした研究所が移転してくるとき、近隣住民にとって気になることは、危険レベルではないでしょうか。新研究所には、4段階に区分けて危険度を表すBSL3(注1)(バイオセーフティーレベル上から2番目)に相当する区域がありますが、外部に危険が及ばないような設備を整えています。

去る6月25日(水)13:00よりミニコミちとせ編集委員会では、船橋まちづくり出張所にて東京都福祉保健局の渋谷恵美副参事、(財)東京都医学研究機構の新研究所開設準備室 渡邊幹男室長他2名にお越し頂き、拡大編集委員会で説明していただく機会を設けました。渡邊室長は素朴な疑問にも丁寧にお答えくださいました。参加者からは「最新施設というハード面は充実しています。しかし、ソフト面で研究員が危険なものを扱うこ

とに、高いモラルと知識を持ち続ける体制作りをしてください」との声が上がりました。編集委員会としては、このような住民の声を東京都福祉保健局と(財)東京都医学研究機構がしっかりと受け止め、積極的に情報公開を進めてくださるものと期待し、注視していきたいと思えます。

(注1)BSL3・・・バイオセーフティーレベルの一つで、危険性が高いもの。個体に対しての危険性は高いが、地域社会に対しての危険性は低い。人間に感染すると重篤な疾病の原因となりうるが、他の個体への伝播の可能性は低いもの。

都立松沢病院 医療観察法病棟の建設

松沢病院は今後、建て替え改修を行い「精神医療センター」として整備されます。その一環として平成17年に施行された「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」(医療観察法)に基づく病棟建設のため、20年7月より一部病棟の解体工事を始め、21年度中に運営開始の予定です。また新館の建築、既存病棟の改修がすべて終了するのは24年度以降とのことです。

以上について今後長期にわたっての大規模工事が行われます。地域住民として、安心安全なまちが維持できるよう関心を持ち続けていきたいですね。

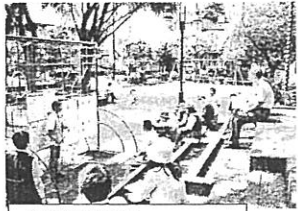
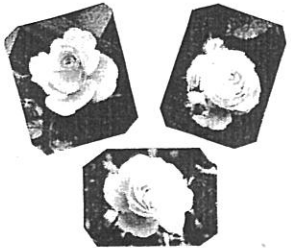
団地の庭は、

お花畑と野菜畑

船橋4丁目にある都営住宅各棟の庭には、いつも四季折々の花がいっぱい咲いて、住んでいる人、通りすがりの人達の目を惹きつけてくれています。お花を植えて楽しもうと思う人達が思い思いに植え、せっせと手入れをし、きれいに花を咲かせ、見事なお花畑になっています。この5月には、バラが見ごろで40本以上ある、色んな品種のバラが咲き競ってそれは見事でした。評判を聞いてデジカメを持って見に来られる方もおられました。

団地の庭は、お花畑ということはすてきなことなのですが、中には耕して野菜畑になっている所もあります。お花を植える人も居れば、野菜を育てる人も居るのです。季節の野菜を育てて収穫しそれを口にする。これは老後の楽しみとして生きがいを感じることができません。しかし団地のルールとして畑は個人的に占有することになり残念ながら許されていません。東京都の指導もあり畑は減ってきました。

お花は許されていますので、お花畑はどんどん増えてきました。これからもきれいなお花がもっと増える事でしょう。(I)



池田公園でのワークショップの様子

まちの動き

池田児童遊園と葭根公園が改修されます

桜、つつじ、藤、クチナシなど、一年を通じて花が咲き、多くの方に利用されている池田児童遊園と葭根公園。この二つの公園が、今年度、改修工事に入ります。すでに取り終えた住民アンケート・子どもアンケートをもとに「世田谷区みどりのみず政策担当部公園緑地課」より出された改修案について検討会が開かれました。

池田児童遊園は、道をはさんだ「(仮称)船橋3・10」という公園予定地と一体になった改修工事。改修の中心は公園内にある船橋地区会館の大階段、トイレ、遊具などの予定です。

一方葭根公園の検討会は7月6日(日)に希望丘中学校で開催されました。三つの改修案が示され、その中からどれがいいのかを子どもの保護者、町会の方など、参加者が熱心に討議されました。

両公園とも、今ある木々や植栽は最大限生かすということなのでご安心ください。だれもが使いやすい、緑にあふれた公園の開園を楽しみにしたいと思います。

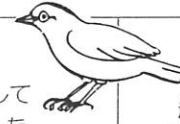
今後の予定・・・☆整備プラン報告 平成20年8月 ★工事期間 平成20年11月～平成21年3月
★開園 平成21年4月 (注 工事期間中は両公園とも使用できなくなります)

♪♪ 編集後記 ♪♪
年齢を重ねた某作家の講演会で共感を覚えた言葉がある。「僕の年齢になると、最後に一つ大事業が残っている。それはこの世を去るにあたっての意識のもちかたである。これを私なりに咀嚼してみた。
生きとし生けるものを煩わす迷の心、貧・瞋・痴・慢・疑・見を根本としているがその種類は多く、「百八煩惱」とか「八万四千の煩惱」とかかわれている。それを断つたとき、彼の作家の言われた「大事業」を成したといたえるのだから、難しい。それは悟りの境地というらしいが心して生きたい。
この三月に数名の編集委員が退かれました。数年に亘ってのご活躍お疲れ様でした。
そして新たに加わった方がたが平均年齢をちょっと下げ、色々な面でバランスのとれた編集委員構成になりました。貞摺な態度で関わって頂き出来上がった82号です。
是非ご感想、ご意見をお寄せください。(S)

- 平成20年度 ミニコミ「ちとせ」編集委員紹介
- 顧問 駒井 澄子(フレール西経堂)
 - 編集長 齋藤 和子(船橋会)
 - 副編集長 古我 照彦(船橋葭根会)
 - 副編集長 松園 伸子(青少年船橋地区委員会)
 - 編集委員 川口 多喜子(フレール西経堂)
 - 編集委員 村越 朱美(フレール西経堂)
 - 編集委員 関口 美枝(千歳台廻沢町会)
 - 編集委員 岩垂 淑子(千歳台廻沢町会)
 - 編集委員 下郷 平三郎(希望ヶ丘団地)
 - 編集委員 藤崎 伸一(都営船橋4丁目住宅)
 - 編集委員 稲垣 俊雄(都営船橋4丁目住宅)
 - 編集委員 小林 秀子(民生委員協議会)
 - 編集委員 妹尾 廣子(日赤奉仕団船橋分団)
 - 編集委員 野原 理永(青少年船橋地区委員会)
- ♪ よろしくお願ひいたします。♪

船橋まちづくり出張所人事異動
平成20年4月1日付け
転出 増田 博士 財務部財産管理へ
転入 櫻井 幹夫 砧保健福祉センターから
♪ よろしくお願ひいたします。♪

ちょっといい話・・・
船橋小学校が愛鳥活動で 野生生物保護功労者として「環境大臣賞」を受賞しました。昭和52年に東京都愛鳥モデル校の指定を受けてから30年の活動がみとめられました。船橋小学校のサンクチュアリーでは四季折々野鳥が飛んできます。各学年で授業に取り入れて、活動をしています。野鳥観察の様子です。



日本+ 赤十字

船橋地区赤十字社資募集
ご協力ありがとうございました。
2,911件 1,823,026円
これからもご支援よろしくお願ひいたします。



船橋地区社会福祉協議会
こんにちは!7・8月の暑い中、地域福祉推進委員の皆様が福祉活動を支える社協の会員会費募集をしております。ご支援、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。